

7. 4 大学図書館に期待するもの

ー日本古典文学の研究教育に従事する立場からー

筑波大学 文芸・言語学系 教授

芳 賀 紀 雄

概 要

1. 日本古典文学の研究教育と大学図書館との接点。

○書誌学・図書学について。

○文献学の基本的性格と本文批判。

○大学図書館（古典資料担当）の役割の重要性。

2. 電子化資料の利点と有効性。

○NACSIS Webcat による文献情報の検索と活用の実際。

○全文情報（特に貴重書）とその高精細画像の有効性。

3. 電子化資料の限界。

○NACSIS Webcat 詳細表示の問題点。

○NACSIS Webcat による検索結果から大学図書館所蔵の貴重書・準貴重書の閲覧
に至るまでの問題点。

4. 大学図書館に望むこと。

○古典資料担当の専門性。

○蔵書収集維持ならびに研究教育水準の向上のための、図書館と教員・学生との
緊密な情報交換。

○NACSIS Webcat の更なる利便性。

* 当日、資料を配付。